

展望台で初日の出

2007年の初日の出を城山展望台で待ち受けたのは20人でした。

薄く積もった展望台の雪も一部は氷っていました。暗くから登ってきた人も多かったようで、東の空をずっと見つめながら体を震わせて待ちました。7時過ぎにやっと山際が光り出し、

7時14分30秒、後立山連峰の唐松岳の右側から初日が現れ、どよめきが起こりました。「わあ、きれい!」「まっぶしい。」「見れてよかった!」

城山神社も雪の中で今年を迎えました。去年は鳥居もくぐれなかったほどの大雪でしたが、今年は程よい雪の元旦でした。



もう一つの『大門道』

『古道 大門道』の標柱の近くに道の跡があります。ずっと気にはなっていたので、その道を下ってみました。谷筋の道は第2砂防ダム工事の取り付け道に辿り着きました。

『殿様道』を辿って

『七つ尾 特集七尾城跡』で殿様道を辿ってみました。大田火電の21番送電塔への道を上って、どちらへ行こうかと迷い22番へと向かった。紅葉が綺麗だった。

22番鉄塔からは市道からの離れすぎを心配して急な尾根を下りた。そこで出会った人に場所を確かめると「滝の尻」だった。そこからの山道の形は残していたが尾根に上る道も尾根道も荒廃していました。何とか道を辿ると林道にと続き、その道を下ると広い平地に出た。

電柱の『牧場分』を手がかりに道を辿ると、それは以前に行ったことのある山の中で過ごしている人の場所であった。

翌週は確認のために自動車で周って写真を撮った。

『仏の前』から杉林に沿って急勾配の場所を上った。林道周辺で黒崎川に下る道を探したが見つからなかったが、送水路の取り入れ口が林道から7分余りのところであることが分かった。

また、『仏の前』から上ってきて『観音堂跡』などを探したが見つけることはできなかった。『昭文社』の地図の道で確かめようと考えている。